

令和7(2025)年度

# 学生募集要項

## 大学院現代文化研究科入学試験 現代文化専攻 臨床心理学専攻

### 目次

建学の精神・理念	1
3つのポリシー	1
現代文化研究科入学試験要項	
1 募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願上の注意事項	4
4 出願期間	5
5 出願手続及び出願書類	5
6 試験日及び試験会場	5
7 選考方法	6
8 合格発表	6
9 入学手続	7
10 授業料等納入金(令和7年度生)	7
11 修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置に関する情報	7
12 その他	7
出願について	8
受験上の留意事項	8
長期履修学生制度について	9
個人情報の保護について	10



比治山大学

HIJIYAMA

# 建学の精神・理念

「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間を育成する

建学の精神・理念は、広島昭和高等女学校（昭和14年設置）第三代国信玉三校長の教育理念に基づくもので、人間の生命の尊厳性と永遠性を基底として、現在を生きる私たち人間の生命は、久遠の過去から連綿と現在に至っていることに感謝し、これを未来永劫に向上発展させるべく、現在を精一杯生きるように精進する人間を育てたいという願いを表すものです。

## 3つのポリシー

（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）

### 比治山大学大学院

#### 【現代文化研究科 現代文化専攻】

##### ディプロマ・ポリシー（卒業(修了)の認定に関する方針）

現代文化専攻では、所定の単位を修め、最終試験に合格することによって、以下に掲げる知識や能力を身に付けた学生に修了を認定し、修士（文学又は学術）の学位を授与します。

1. 現代文化専攻のいずれかの研究領域に関する高度な専門的知識・技能を身に付けている。
2. 自ら設定した研究課題に対する修士の学位にふさわしい研究を行う能力を身に付けている。
3. 知識基盤社会の発展に貢献できる実践力を身に付けている。

##### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

現代文化専攻では、現代文化への専門的識見をもって知識基盤社会の発展に貢献できる人を養成するため、次の3つの研究領域により構成し、カリキュラムを編成しています。

1. 日本の言語文化への専門的識見を養成するため、日本語・日本文学を中心とした日本の言語文化を幅広く学修する日本語文化研究の領域
2. 欧米の言語文化への専門的識見と実践的能力養成のため、欧米の言語・文学さらに言語教育学や第二言語としての日本語教育学を学修する国際言語文化研究の領域
3. 高度情報化社会と情報メディアへの専門的識見を養成するため、マスコミュニケーションを中心とした情報の発信と表現のあり方や情報管理、セキュリティ等について学修する情報メディア研究の領域

##### アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

現代文化専攻は、次のような人を求めています。

1. 現代文化専攻の日本語文化・国際言語文化・情報メディアの各研究領域に関心を持ち、いずれかの研究領域において自ら設定した研究課題を探究する意欲を持つとともに、修得した専門的知識・技能をもって知識基盤社会の発展に貢献することを目指す人
2. 現代文化専攻のいずれかの研究領域において学士課程修了相当の知識・技能を有する人

## 【現代文化研究科 臨床心理学専攻】

### ディプロマ・ポリシー（卒業(修了)の認定に関する方針)

臨床心理学専攻では、所定の単位を修め、最終試験に合格することによって、以下に掲げる能力を身に付けた学生に修了を認定し、修士（文学又は学術）の学位を授与します。

1. 公認心理師の職責を理解し、関係者と協働しながら支援等を実践する能力を身に付けている。
2. 心理査定、心理面接を行う高度な専門的知識と技能を身に付けている。
3. 心理学の高度な専門的知識と技術をもって地域社会に貢献する能力を身に付けている。
4. 心理学についての研究を行う能力を身に付けている。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

臨床心理学専攻では、ディプロマ・ポリシーに基づき、次に掲げる知識、能力を身に付けることを意図したカリキュラムを編成しています。

1. 心理学についての高度な専門的知識を深めるために、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働領域の科目を構成しています。
2. 心理査定、心理面接を行う技能を高めるための臨床心理に関する講義・演習・実習を構成しています。
3. 心理学についての研究を行う能力を高めるために研究法に関する講義、演習を構成しています。
4. 人間関係を中心とする心理的諸問題を理解し、それらの健康的改善を支援する能力を高めるために心理実践実習を構成しています。
5. 専門的知識、技法を生かして地域に貢献する能力を高めるために地域支援や健康教育に関する科目を構成しています。

### アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

臨床心理学専攻が求める学生は、心理学の幅広い知識を生かして、公認心理師の資格を有する専門家として、よりよい地域社会づくりに広く貢献しようとする熱意を持った人です。臨床心理学専攻は、次のような人を求めています。

1. 大学で公認心理師に必要な科目を修め、心理学全般にわたる専門的知識をもつ人
2. 豊かな共感性に裏付けられた援助的コミュニケーション能力をもつ人
3. 心理学に関する高い専門性と技能を習得し、公認心理師の資格を取得して、地域社会に貢献しようとする人
4. 心理学についての研究を行う意欲をもつ人

# 現代文化研究科入学試験要項

## 1 募集人員

研究科	専攻及び研究	定員
現代文化	現代文化専攻	9名
	日本語文化研究	
	国際言語文化研究 情報メディア研究	
	臨床心理学専攻	5名

### ◆長期履修学生制度の申請について

現代文化専攻を受験される方は、長期履修学生制度を申請することができます。概要については、P.9記載の「長期履修学生制度について」を確認してください。

※長期履修学生制度を申請される方は、「入学志願票（A票）」へ明記してください。

## 2 出願資格

(1) 一般選抜試験：次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設で、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑩ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑪ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和7年3月までに22歳に達する者

※ 上記⑨、⑩、⑪によって出願する者は、P.4記載の「3 出願上の注意事項」を参照してください。

- ⑫ 臨床心理学専攻志願者は上記の出願資格に加え、「大学における公認心理師になるために必要な科目」を履修して卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

※「大学における公認心理師になるために必要な科目」を履修したかどうかについては、卒業見込みまたは既卒大学においてご自身で確認していただくこととなります（本学では判断しかねます）。

(2) 社会人特別選抜試験

入学時において(1)の出願資格取得後、3年以上経過している者

(3) 外国人留学生特別選抜試験：次の各号のいずれにも該当する者

① (1)の出願資格を有する外国人留学生

② 日本語能力試験 (JLPT) N1合格, もしくは日本留学試験の日本語 (記述を含む) 成績が280点以上の日本語能力を有する者

◆外国人留学生が出願する場合は, 必ず出願前に事前面談を受けてください。面談等の詳細については, 入試広報課へ問い合わせてください。

◆外国人留学生が出願する場合は, 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得又は更新できる者であることが必要です。

### 3 出願上の注意事項

(1) 出願資格の認定について (事前審査)

P.3記載の「2 出願資格」(1)⑨, ⑩, ⑪により出願する者は, 各日程の出願開始日1か月前までに入試広報課へご連絡ください。

事前審査は次のとおり行いますので, 入学資格審査申請書 (本学所定用紙) を事前に請求し必要書類を揃えて, 比治山大学入試広報課へ提出してください。なお, 郵送の場合は封筒に「大学院現代文化研究科事前審査書類在中」と朱書きしてください。

① 必要書類

- ・ 入学資格審査申請書 (本学所定用紙)
- ・ 履歴書 (学歴, 職歴, 研究歴等を記載したもの)
- ・ 最終学校等の成績証明書又は取得資格・検定等の証明書
- ・ 活動又は研究業績の概要を記したもの
- ・ 所属長又は大学等の教員の推薦書
- ・ 生年月日が確認できる証明書等のコピー
- ・ その他本学が必要とする書類

② 審査方法

提出書類により総合的に審査します。

③ 審査結果

事前審査の結果は, 本人宛に通知します。

④ 出願手続

事前審査に合格した者は, 本募集要項により出願手続を行ってください。

(2) 入学後に研究を希望する専門分野について

現代文化専攻では, 一種免許状 (国語/英語) を基に, 中学校・高等学校教諭専修免許状 (国語/英語) を取得することができます。本学又は他大学にて既に一種免許状を取得している人は, 現代文化専攻 (「情報メディア研究」を主として専攻する者は対象外) において, 次の2コースのどちらかを選択することにより取得可能です。

① 修士 (専修) コース (修士の学位授与を希望する人)

該当する研究分野等で30単位以上修得し, 修士論文等を提出し合格すると, 修士の学位が授与されるとともに専修免許状を取得することができます。

② 教職 (専修) コース (修士の学位授与を希望しない人)

該当する「教科に関する科目」から30単位以上修得すると, 教職課程修了証を授与され専修免許状を取得することができますが, 修士の学位は取得できません。

(3) 14条特例の適用について (P.7 「12 その他」参照)

① 現代文化専攻

社会人特別選抜試験の出願者のうち、現職教員等で、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を受けようとする者は、「入学志願票 (A票)」に明記してください。

② 臨床心理学専攻

臨床心理学専攻に出願する者には、この14条特例は適用しません。

#### 4 出願期間

〔10月試験〕 令和6年9月18日 (水) ~ 9月30日 (月) <締切日消印有効>

〔3月試験〕 令和7年2月17日 (月) ~ 2月27日 (木) <締切日消印有効>

#### 5 出願手続及び出願書類

(1) 提出書類 (本学所定の封筒に入れて速達・簡易書留で郵送してください)

※出願についての注意事項等は、P.8記載の「出願について」を参照してください。

提出書類		備考
一般	①	入学志願書類 本学所定の志願書類：A票・B票・C票・D票 ・入学志願票 (A票) ・写真票 (B票) ・振替払込受付証明書貼付票 (C票) ・受験票 (D票)：志願する専攻によって用紙が異なるので注意すること。 裏面に、「はがき」及び「速達」料金分の切手を貼付すること。 ※現代文化専攻を受験する場合は、志望する研究を選択して、B票・D票の該当する箇所を○で囲むこと。
	②	成績証明書 出願資格に係る出身学校長が作成したもの。
	③	研究概要書 本学所定の様式で作成すること。
	④	研究計画書 本学所定の様式で作成すること。
	⑤	卒業証明書又は、 卒業見込み証明書 出願資格に係る出身学校長が作成したもの。
社会人	①~⑤に加えて下記のもの。	
	⑥	受験承諾書 出願時現在在職中の者は、本学所定の用紙に記入し提出すること。
外国人留学生	①~⑤に加えて下記のもの。	
	※②⑤については、英語以外の外国語で作成されている場合、日本語訳を添付すること。	
	※⑨を取得している者は提出すること。	
	⑦	日本語能力試験N1合格もしくは 日本留学試験(日本語)280点以上である 証明書の写し 日本語能力試験 (JLPT) N1合格もしくは、 日本留学試験の日本語 (記述を含む) 成績280点以上である証明書の写し。
	⑧	身元保証書 日本に住所を有する成年者の身元保証書 (本学所定の用紙に保証人が記入すること)。
⑨	住民票の写し 在留資格・在留期間が記入されたもので、出願時に在住する市区町村で発行したもの。	

◆証明書が旧姓の場合は、入学志願票の志願者氏名欄に旧姓○○と併記してください。

(2) 入学検定料

30,000円 ※本学所定の郵便振替用紙で払い込み、振替払込受付証明書をC票に貼付してください。

※外国人留学生の方は、15,000円とします。

#### 6 試験日及び試験会場

〔10月試験〕 令和6年10月5日 (土)：本学

〔3月試験〕 令和7年3月9日 (日)：本学

## 7 選考方法

### (1) 現代文化専攻を受験する者

#### ① 試験内容及び試験時間

※試験当日は、試験開始時刻の15分前までに試験室へ入室してください。

#### ア 一般選抜試験

筆記試験	口述試験
11:00~12:00	13:30~
専門科目に関する論述形式の問題	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

#### イ 社会人特別選抜試験

筆記試験	口述試験
11:00~12:00	13:30~
専門科目に関する論述形式の問題	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

#### ウ 外国人留学生特別選抜試験

筆記試験*	口述試験
11:00~12:00	13:30~
専門科目に関する論述形式の問題	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

※外国人留学生特別選抜試験の筆記試験は、辞書の持込・使用を許可します。

ただし、電子辞書及び参考書の使用は認めません。

#### ② 筆記試験・口述試験及び出願書類を総合して選考します。

### (2) 臨床心理学専攻を受験する者

#### ① 試験内容及び試験時間

※試験当日は、試験開始時刻の15分前までに試験室へ入室してください。

#### ア 一般選抜試験

筆記試験		口述試験
9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~
英語*	専門科目 (心理学)	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

※英語の試験は、英和辞書（1冊）の持込・使用を許可します。ただし、電子辞書及び参考書の使用は認めません。

#### イ 社会人特別選抜試験

筆記試験		口述試験
9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~
英語*	専門科目 (心理学)	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

※英語の試験は、英和辞書（1冊）の持込・使用を許可します。ただし、電子辞書及び参考書の使用は認めません。

#### ウ 外国人留学生特別選抜試験

筆記試験		口述試験
9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~
英語*	専門科目 (心理学)	卒業論文の内容又は研究経過と入学後の研究計画等について

※英語の試験は、英和辞書（1冊）の持込・使用を許可します。ただし、電子辞書及び参考書の使用は認めません。

#### ② 筆記試験・口述試験及び出願書類を総合して選考します。

## 8 合格発表

### (1) 発表日

〔10月試験〕令和6年10月16日（水）

〔3月試験〕令和7年3月13日（木）

### (2) 志願者に可否を通知します（掲示発表は行いません）。

### (3) 電話による問い合わせにはお答えできません。

### (4) 通知書類は地域によって、到着が発表日の翌日になる場合があります。



# 出願について

## 1 出願にあたって

- (1) 出願書類・入学検定料は、提出・納入後は、返還いたしません。
- (2) 出願後の志望した専攻及び研究の変更はできません。
- (3) 心身に障がいのある志願者で、受験方法について要望がある場合は、出願開始日の3週間前迄に入試広報課へ問い合わせてください。
- (4) 受験票が入学試験日の2日前迄に届かない場合は、入試広報課へ問い合わせてください。
- (5) 臨床心理学専攻に出願する者は、入試広報課に連絡を取り、事前に、研究指導を受けようとする教員あるいは入試担当の教員に、研究テーマ等について相談してください。

## 2 入学志願書類記入上の注意

- (1) 数字は、すべて算用数字を用いてください。
- (2) ※印の欄には、記入しないでください。
- (3) A、B票は、黒又は青のボールペン（消える筆記具は不可）を用い、本人直筆（文字は楷書）ではっきり記入してください。書き損じた場合は、修正液を使用してもかまいません。
- (4) 本学では、入学試験に際して大学側で発行する合格通知書類等に出力される受験生氏名の表記について、基準を設けています。その結果、出願書類どおりに表記されない場合があります。
- (5) 電話番号は、出願書類等について緊急に連絡をとる場合に利用します。連絡のつきやすい電話番号を記入してください。

# 受験上の留意事項

## 1 試験当日の留意事項

- (1) 試験室の位置等は、試験当日に掲示等によって指示しますので、それに従って試験開始15分前には試験室に入室してください。試験室等について、事前の問い合わせにはお答えできません。
- (2) 試験室では、机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- (3) 受験票を忘れた場合は、試験開始前に、速やかに係員へ申し出てください。
- (4) 試験開始時刻に遅れた場合は、入試本部へ連絡してください。試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (5) 試験時間前や受験科目によって、受験しない科目の待ち時間がある場合は控室を利用して、待機してください。

※試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症にかかり、治癒していない場合は、原則として受験できません。該当の受験者（または保護者）の方は、入試広報課へ連絡してください。

## 2 試験室での留意事項

- (1) 試験室内では、監督者の指示に従ってください。
- (2) 受験票は試験時間中、机の上に置いてください。口述試験では、試験室に持参してください。
- (3) 試験室には、筆記用具（黒鉛筆または黒い芯のシャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り）及び特に許可されたもの以外の持ち込みは認めません。
- (4) 腕時計を持参してください。なお、辞典機能・アラーム機能などが組み込まれた時計は使用してはいけません。
- (5) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってください。また、これらを時計として使用することは認めません。
- (6) 試験中質問がある場合や気分が悪くなった場合は、黙って手を挙げて監督者に知らせてください。
- (7) 監督者の指示に従わない場合や、不正な行為があった場合は、退室を命じ、受験を無効とします。

### 3 その他の留意事項

- (1) 学内の下見は試験場を確認するにとどめ、建物内には立ち入らないでください。
- (2) 試験当日の昼食は、各自で用意してください。試験当日は、本学内での昼食等の販売（売店・レストランの営業）は行っていません。
- (3) 試験当日は、交通渋滞等も予想されますので公共交通機関を利用してください。駐車場はありますが、数に限りがありますので、注意してください。
- (4) その他入学試験に関する相談は、入試広報課へ問い合わせてください。なお、試験当日の連絡先は、受験票に明記しています。
- (5) 試験当日は、付添者の控室がありますので、利用してください。
- (6) 入試内容に変更が生じた場合は、本学ホームページにて適宜お知らせしますので、確認してください。

## 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、現代文化研究科現代文化専攻では、通常2年間で修了するところを、3年またはそれ以上（最長4年まで）の年数をかけて無理なく学修し、大学院を修了することができる制度です（臨床心理学専攻を志願する方は申請できません）。

自分のライフスタイルに合わせて学修できることや、一度に納入する経費負担が少ない点が特徴です。ただし、修了までに納入していただく学費は、2年間で修了する学生と同額になります。科目等履修生が正規学生ではないのに対し「長期履修学生」は正規の学生となります。

#### (1) 長期履修学生制度の申請について

長期履修学生制度を申請する方は、出願時に「入学志願票（A票）」へ明記してください。

通常の2年課程に在学している間に長期履修学生制度への変更はできません。また、長期履修学生制度で在学している間に、通常の2年課程への変更もできません。

#### (2) 履修期間の延長について

長期履修学生制度による修業年限は3年ですが、1年間の延長をすることが可能です。3年目で修了するか4年目で修了するかを、2年目の12月までに決定し届け出を行っていただきます。

#### (3) 履修登録単位数について

長期履修学生制度の場合、1年間で履修登録できる単位数は、原則として、前期8単位、後期8単位の合計16単位までとなります。修了に必要な単位数は30単位です。

#### (4) 長期履修学生制度の授業料等納入金（令和7年度生）

		納 入 金	
初年度 納入金	入学手続時 納入金	入学料	230,000円
		授業料（前期分）	210,000円
		保険料	2,430円
	合 計		442,430円
	10月末	授業料（後期分）	210,000円
初年度年間納入金		652,430円	
2年目年間納入金（授業料前期・後期）		420,000円	
3年目年間納入金（授業料前期・後期分及び保険料1年分）		421,340円	
◆修業年限を1年延長した場合の3・4年目の納入金額は次のとおりです。			
3年目年間納入金（授業料前期・後期分及び保険料2年分）		212,430円	
4年目年間納入金（授業料前期・後期分）		210,000円	

※実験・実習費を必要に応じて追加徴収することがあります。

※保険料は、令和6年度の実績であり変更になることがあります。

# 個人情報保護について

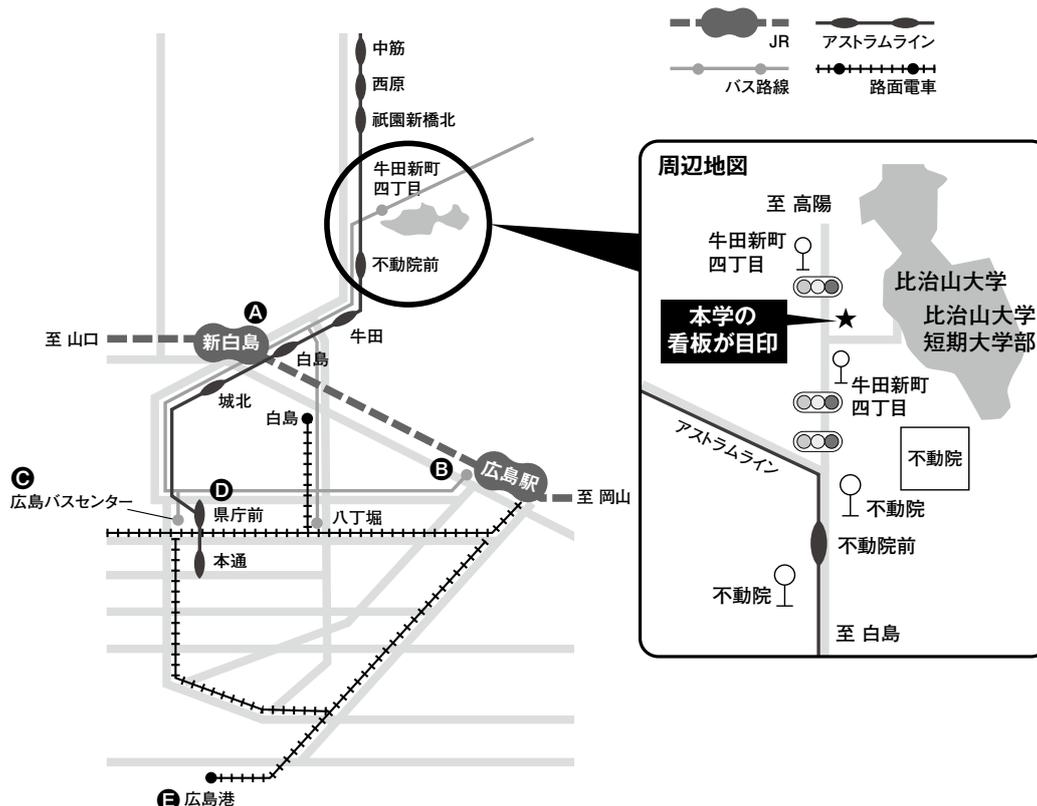
出願書類により得られた個人情報は、適切に管理し、次の目的以外に利用しません。

- 1 入学者の選抜
- 2 本人に対する入試結果の通知
- 3 文部科学省等の調査報告、統計的集計
- 4 入学予定者への教育上の各種通知
- 5 緊急連絡

## 【本件問い合わせ先】

〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目1番1号  
比治山大学 入試広報課  
TEL 082-229-0150

《比治山大学・比治山大学短期大学部案内図》



広島市内からのアクセス

● JR (約10分)

- JR新白島駅
- 新白島駅 [アストラムラインに乗りかえ]  
広域公園前方面 5分 (230円)
- 不動院前駅 (比治山大学前)  
徒歩 約5分
- 比治山大学・比治山大学短期大学部

● 路線バス (約15分)

- JR広島駅  
エールエール前20番乗り場
- 広島交通 / 千足・深川・高陽方面行  
(にぎつ経由) 約12分 (230円)
- 牛田新町4丁目 (比治山大学前)  
徒歩 約3分
- 比治山大学・比治山大学短期大学部

● 広島港から (約40分)

- 広島 (宇品) 港  
徒歩 約2分
- 広島港栈橋 [バスに乗りかえ]  
広島バス / 広島駅行 (元宇品口経由)  
約25分 (220円)
- 本通駅 [アストラムラインに乗りかえ]  
広域公園前方面  
9分 (230円)
- 不動院前駅 (比治山大学前)  
徒歩 約5分
- 比治山大学・比治山大学短期大学部

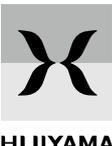
● 路線バス (約15分)

- 広島バスセンター 11番乗り場  
広島交通・JRバス / 高陽方面行  
約12分 (230円)
- 牛田新町4丁目 (比治山大学前)  
徒歩 約3分
- 比治山大学・比治山大学短期大学部

● アストラムライン (約13分)

- 県庁前駅  
広域公園前方面  
8分 (230円)
- 不動院前駅 (比治山大学前)  
徒歩 約5分
- 比治山大学・比治山大学短期大学部

※令和6年4月1日現在の情報です。



比治山大学  
比治山大学短期大学部

HIJYAMA

〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目1番1号  
TEL (082) 229-0150 (入試広報課直通)  
FAX (082) 229-8603

0120-229-145 (入試専用)  
E-mail nyushid@hijiyama-u.ac.jp  
URL https://www.hijiyama-u.ac.jp/